

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	01	03	0411	ニコニコ元気っ子事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-1	子育て環境の充実			
	施策	3	就学前教育の充実			
目的	保育・教育の充実と小学校へのスムーズな接続を図る。					
対象	花巻市内の保育園、幼稚園の以上児					
意図	幼児期での体力・運動能力の向上に取り組み、小学校の学校生活に適応出来る体づくりを行う。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
【平成27年度事業実施内容】 生涯にわたるスポーツや運動の欲求を引き出し、健全な心身の発達を促す効果が期待出来るコーディネーショントレーニング（略称COT）の教室を市内保育園、幼稚園で実施する。 ①公立園での運動能力調査の実施 ②市内園毎に4、5歳児を対象としたコーディネーショントレーニング教室を実施						
市民参画の有無 【 無し 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① COT教室実施回数	回	計画		86	86	86
		実績		70	70	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① COT教室参加園児数	人	目標		3,000	3,000	3,000
		実績		1,984	1,927	
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市内保育園・幼稚園を対象にコーディネーショントレーニング教室への案内を出し、うち34園が参加し、延べ約2000人の園児が教室に参加したが目標値を下回った。保育・教育の方針により参加しなかった園があったこと、在園児数の多い園が不参加であったことなどが成果指標の目標に達しなかった要因であると思われる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	近年、市内小学校での運動能力が全国平均を下回る状態であることなど、幼児期からの体力・運動能力の向上が必要な状況であり、市として解決に向けて取り組むべき事項である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	コーディネーショントレーニング教室に不参加の園への周知方法検討や、参加園への実施後アンケート結果を反映させることにより、成果の向上を図ることができる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	本事業に係る経費はコーディネーショントレーニング教室講師への謝礼のみであり、削減は難しい。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市内の保育園、幼稚園を広く対象とする事業内容であることから、適正であるといえる。
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括	費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
幼児期から体を動かす機会を増やすことや、運動の苦手な子どもでも楽しく体を動かすことができる内容のコーディネーショントレーニング教室を開催した。実施後のアンケート結果では、参加園34園中30園がコーディネーショントレーニング教室から学ぶことができ、満足したと回答し、28園が日々の保育・教育に活かしていると回答していることから、各園において日々の保育・教育に様々な体の動かし方を取り入れることができ、園児の運動能力向上に繋げることができたと考えられる。 今後については、不参加の園への案内の工夫やアンケート結果から見えた課題を改善し、事業を運営する必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	0411	ニコニコ元気っ子事業

単位：千円				
	26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	748	420		△ 328
財源内訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	748	420	△ 328

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部経営方針における目標			
子どもたちの健やかな成長を育む就学前教育の充実と家庭の教育力の向上			
事業開始の背景・経緯			
市内小学校の体力が、全国平均値より低下している項目が年々多くなる傾向にあるとともに、運動する子どもとしない子どもの差の拡大、肥満の傾向が見られる子どもの増加等、運動不足が原因と思われる現象が数多く見られることから、幼児期から何らかの対策が急務となってい			
事業概要			
【平成27年度事業実施内容】 生涯にわたるスポーツや運動の欲求を引き出し、健全な心身の発達を促す効果が期待出来る コーディネーショントレーニング（略称COT）の教室を市内保育園、幼稚園で実施する。 ①公立園での運動能力調査の実施 ②市内園毎に4、5歳児を対象としたコーディネーショントレーニング教室を実施			
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等			
平成27年度実施園へのアンケート結果の中で、コーディネーショントレーニング教室は年2回の子どもの対象にした教室であり、それだけでは日常的な保育・教育の中に活かすことができないため、職員向けの研修が必要であるとの意見があり、検討が必要である。			

担当部署 部名 教育部 課名 こども課 担当係長 佐々木 祐子 内線 930-342 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業手法の詳細】

課題

小学校での体力・運動能力調査結果で全国平均より低い項目が年々多くなる傾向が見られる。

要因

運動をする子ども・運動をしない子どもの二極化(「運動嫌い」が増加)

自然遊び等による身のこなしを自然に習得する機会の減少

車社会の進行による歩く機会の減少

食生活の変化と、ゲーム等普及による室内遊びの増加

導入

肥満傾向の子どもの増加

改善

COTの特徴

①子どもの年齢に合った理論に基づいたプログラムで実施
②単純な運動遊びを通じ、体を動かす楽しさや、やる気を引き出す
③体力・運動能力の向上の他、運動に必要な様々な能力が身に付けられる

期待される効果

運動嫌いの子ども減少
運動する機会の増加
授業時の姿勢の改善
肥満傾向の子ども減少

【平成27年度事業費の内訳】（決算）全体420千円
①公立園での運動能力調査の実施
公立園で運動能力調査を実施、私立園へ用具貸出
②市内園毎に4、5歳児を対象としたCOT教室を実施
市内全園でCOT教室を年2回実施（対象園49園中、34園参加）
※外部のスポーツ団体（NPO法人SUMはなまき）に実施を依頼
※市内で有資格者を有するスポーツ団体はこの1団体のみ
（決算）謝礼金：420千円 COT教室等謝礼金0
（2時間×3千円×33園×2回、2時間×3千円×1園×4回）
※4回は花巻幼稚園、人数超過のため